

Anti human HNF4 α 7 mouse monoclonal antibody

HNF4 α : Hepatocyte Nuclear Factor 4 α

製品コード PP-H6939-00

Clone No. H6939

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100 μ L

Ig class G1

Nomenclature NR2A1

Genbank AY680696

由来 ヒトHNF4 α (1-16 aa) の合成ペプチドを免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒト HNF4 α 7, 8, 9 と特異的に反応する。マウスおよびラット HNF4 α 7, 8, 9 と交差反応する。

精製法 硫安塩析法

溶媒 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN₃添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可
参考使用濃度 1 μ g/mL

非還元 Western Blot 可
参考使用濃度 3 μ g/mL

ELISA 可
参考使用濃度 3 μ g/mL (A450=0.75)

免疫沈降 可
参考使用濃度 適宜調製してください

Supershift Assay 未検討
参考使用濃度 -

クロマチン免疫沈降 未検討
参考使用濃度 -

免疫染色 可
参考使用濃度 10-20 μ g/mL



ヒト
大腸
パラフィン切片



ラット
大腸
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Tanaka T, *et al.* J. Pathol. 2006; 208(5): 662-72
Oshima T, *et al.* Patho Int. 2007; 57(2): 82-90

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Mar 2, 2016